

中里小学校 学校だより

# おおくす

令和7年7月1日

第6号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し(共に学び、共に育つ)～

## 今日から7月!

短い梅雨が終わり、暑い夏がやってきました。

これから陽射しが強く蒸し暑い日が続きますので、熱中症指数を常時確かめながら、子どもたちの表情を観察しながら1学期のまとめの活動に取り組んでいきます。

さて、先週の授業参観・懇談会には多くの皆様にご参加いただきました。お忙しい中誠にありがとうございました。どの学年の道徳も発達段階に応じて、「いのちの学び」を深めている様子でした。

中でも6年生は「たった一つの命だから」という題材を扱い、それぞれが命の大切さについて真剣に考える姿が印象的でした。たったひとつの命だから「今自分にできることをしっかりやりとげたい。」「自分をむだに傷つけない。」「笑顔で生きたい。」子どもたちがよく考えた上で表出する本音の言葉に心の成長を感じました。



6月27日(金)には **6.29 平和集会** を行いました。

当日は、**佐世保空襲を語り継ぐ会**の松村博子先生をゲストティーチャーとしてお招きし、戦争中の佐世保の暮らしや食べ物について分かり易く語っていただきました。

蒸し暑い体育館でしたが熱心にお話をされる姿に子どもたちも身を乗り出して聞いておりました。

最後に、松村先生が子どもたちに2つの問いを投げかけられました。

ひとつが「戦争がずっと続いていたらどうなっていたか考えてほしい。」もうひとつが「平和を続けるためにどうすれば良いか考えてほしい。」

この問いに子どもたちはどんな答えを出したのでしょうか。

戦後80年となり、戦争を体験された世代が極端に少なくなりました。学校での平和教育をさらに充実させていきたいと考えているところです。



## 学校支援会議より

子どもの安全に関する話題です。ご一読ください。

学校開放期間中に学校支援会議が開催されました。その中で、子どもたちの校外での生活や地域の事について話題になりましたので、その内容をお伝えします。

### 踏切の危険行為について

桧台下の踏切において、遮断機を触ったり、遮断機がおりてきているのにくぐって通ろうとしたりする子どもが複数いたとの地域の方からの連絡を受けてすぐに個別・全校指導したところです。



### 相浦川での遊びについて

相浦川に入って、流れの急なところで遊んでいる子どもがいたとの地域の方からの連絡を受けて、こちらも安全指導を行いました。



### 雨の日のグリーンロードの歩き方について

雨の日は、子どもたちが傘をさして歩いていますが、その時に2列で歩く子どもがいてとても危ないとのこと。

学校では「白線内を歩くこと」「一列登校」「走りません」を繰り返し指導しています。車との接触事故等が発生してからでは手遅れです。ご家庭でもぜひご確認ください。



### 不審者について

学校では、「いかのおすし」(ついて行かない、乗らない、大声を出す、すぐ逃げる、知らせる)の合言葉を機会を見つけて指導しています。万が一、不審者情報を得た場合は、警察に通報し、学校に連絡をお願い致します。

### 自転車の乗り方について

休日に、中里皆瀬地区コミュニティセンター前道路の線路側を、自転車で逆走している子どもを見かけられたそうです。桧台方面に走っていたそうで声をかけたのに、危険性がよく分かっていなかったようでした、とのことでした。自転車の乗り方につきましてはご家庭でもご確認ください。



### 相浦川の防災工事について(コスモスからマックスバリュ方面)

相浦川防災工事のために堤防補強工事が行われます。7月から工事が始まり9月いっぱい完成予定ということです。

ここは、遊歩道ではないので、ガードレールなどは設置されません。車は進入できませんが、人は入っていけるため、子どもたちに十分注意を促しておく必要があります。

